

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	文学部歴史学科 西洋史専攻	学年(※留学時):	3年
留学先:	国: ドイツ	大学/機関:	フンボルト大学
期間:	2024年2月23日 ~ 2024年3月24日		
	短期	計1ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:
朝9時から午後1時まで
- ・科目名:ドイツ語

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時~13時	○	○	○	○	○	○	

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

パーバラ先生のもとで、クラスは7人程で、リー以外は全員日本人であった。授業はドイツ語版のA1レベルの教科書を用いてドイツ語で進められた。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

旧ドイツ民主共和国のシュタージュについて、情報を得る為にベルリンのシュタージュの関連施設を巡った

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)
旧ドイツ民主共和国の書籍を集める為に博物館島で開催されている古本市に良く足を運んでいた。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 2人で使用

様子: 部屋は広々としていて過ごしやすかったが、キッチンのIHの火力が低く少し料理がしづらかった

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと:

海外派遣留学生
留学報告書

私の滞在していたフンボルト大学のゲストハウスが旧ドイツ民主共和国側に存在していた為、町中で旧東ドイツの痕跡が垣間見る事ができて非常に楽しかった。また日本と比べ、様々な国籍の人がいた為、歩いていて常に退屈しなかった。

- 苦労したこと:
私の語学力が低かった為、露店での交渉やレストランでの注文に少し苦労した。また外食の際の値段が1食20€と少し高く予算繰りに苦労した。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上:
だいたい A1レベル程になった
- 2) 専門知識の向上:
現地で旧ドイツ民主共和国に関連した施設への訪問や先生への聞き込みを通じて東ドイツ時代の暮らしぶりの解像度が上がった
- 3) 自己成長など
様々な人と交流し、自身の専門分野の施設を巡る事で人間的にも非常に成長できた

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

水は問題ないが、食事が体に合わない時があるので正露丸を持っていく事を推奨します。また、時間の流れはあっという間なので現地に到着後、慣れない環境でも積極的に行きたい場所に行くことを勧めます。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	600000
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	17000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	70000
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	20000
その他()	
留学に関する費用の総額	697000

海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

